

2022年
9月発行

休日OK
SAP

ほかごOK 授業OK
サタデースクール通信

札幌市教育委員会生涯学習推進課

今年度より、サッポロサタデースクール事業は、**平日放課後**や、**授業時間**も選択できるようになりました！！（今年度実施校のうち約8割の学校で平日開催）

昨今、急激な社会の変化に伴い、学校の抱える課題が複雑化・多様化しており、学校だけでは解決が難しくなっている現状や、地域社会のつながりや支え合いの希薄化により地域の教育力が低下していることなど、様々な問題が挙げられています。このような問題に対応していくには、地域と学校が一体となって、子どもたちの成長を支えていくことが必要であり、文部科学省では「**地域学校協働活動**」を全国的に推進しています。

サタデースクール事業は、地域学校協働活動の取組の1つです。地域の人材や企業等の社会資源、地域における様々な活動等を活用し、子どもたちを対象に多様な学び・体験の機会＝「プログラム」を提供します。このプログラムの企画・調整・実施を通して、地域と学校の連携・協働の体制づくりを進めるとともに、地域全体で子どもを育てる意識の向上を図ることを目的としています。

サタデースクール、今年度から平日もできるようになったけど、

今までと何が
違うの？

やりやす
くなったの？

実際に関わる人
たちの反応は？

良い取組なのかもしれないけど、うちでやるのは難しいかな・・・、

そんな思いや疑問にお応えしたいため、
関係する皆さんへ、**インタビューを実施しました！！**



今回、実際に計画してみても、
私が感じたことお話しします！

今回ご協力いただいたのは、今年度から初めて実施する学校の校長先生です。
学校現場のリアルな声をお届けします！ ▣ チラシ裏面へGO！！

＊＊ 走り方教室（授業時間）【新琴似北小学校サタデースクール事業運営協議会】 ＊＊

事例紹介



例年、運動会に向けて多くの学校で取組んでいただいている走り方教室。今年度、新琴似北小学校では1・2年生の体育の時間を活用して開催しました。

講師の選定には、運営協議会のコーディネーターが調整窓口となり、陸上コーチ等で活躍している「政スポーツアカデミー」の横谷政一氏を外部講師として招聘しました。

プログラムでは、講師の掛け声とともに、身体全体の動きを意識させるような練習が行われていました。子どもたちは、いつもと違う方法を学ぶことができ、目を輝かせながら非常に楽しそうに練習しているのが印象的でした。今回初めてとなる授業時間での活動でしたが、コーディネーターの方も一緒になって場を盛り上げ、地域と学校が協働する素晴らしい取組内容でした。





サタデースクールインタビュー：第1回「学校編」



今年度初めてサタデースクールを実施する学校へお伺いしました。今回、サタデースクールをやってみようと思った経緯を教えてください。

まず、正直にお話ししたいのは、これまでもサタデースクールは、子どもたちにとって大変意義のある活動だと思っていましたが、休日限定ということでは、地域や保護者、さらには休日に出勤する教員の負担が大きいことを懸念しておりました。また、休日ではかえって、家庭の用事などで、子どもたちの参加が難しいことも多く、参加者が固定化するようにも感じていました。



これまでの制度では取組にくい部分があった・・・ということですね。

はい。しかしながら、今回、平日拡大ということで、子どもたちはもちろん、学校にとっても、地域にとってもメリットのある活動にできるかもしれないと、大いに可能性を感じたところです。



具体的にいますと？

平日拡大ということで、

- ① 放課後や授業で活用できますので、これまで以上に多くの子どもたちが体験活動に参加できます。サタデースクールの予算を活用することで、今まで呼べなかったゲストティーチャーも選択肢に入れることができました。
- ② 教員の勤務時間内で授業等勤務に則した活用が可能になりました。地域の方に講師との調整や、運営面を御協力いただくことで、学校としても負担を最小限に、メリットのある活動が期待できます。
- ③ 地域の方にとっても社会教育活動への参加の機会が増えると思います。今後、活動を継続することで、より学校を身近に感じてもらい、色々な場面で良き相談役になってもらえるような可能性を感じています。





ありがとうございます。地域学校協働活動は社会に開かれた教育課程や教職員の働き方改革の効果実現が目的として挙げられています。今回、サタデースクールの平日拡大はそういった効果への後押しが期待できますね。

それでは、今年度は実際にどのような活動を計画していますか？

ひとつ、例を挙げますと、本校では、平日の放課後、懇談時に合わせてサタデースクールを実施する予定です。低学年の子どもたちの預かりも目的の一つとし、子どもにとっては学校に居る安心感をもって、いつもとは違う有意義な活動を体験できると思います。そうすることで、保護者の皆さんも安心して、懇談に参加できると考えています。

運営は、日ごろからお世話になっている子ども会の方を中心にお願いしています。子ども会が積み上げてきた活動や人脈を最大限生かすことで、関係者にとって新たな負担が生じることは少ないと考えています。



ここまでメリットの部分をお話いただきましたが、実際に計画してみても課題を感じる部分はありますか？

学校やその地域によって状況は様々ですので、学校が必ずしも地域のキーマンを探し出せているとは限りません。その点、本校は恵まれていたかもしれませんね。

ただ、どこの地域でも一定程度、町内会活動などの地域活動は行われており、交通安全の見守りや、ラジオ体操、お祭りなどの各種行事が行われていると思います。

そういったところから地域の人材とつながることで、子どもたちはもちろんのこと、学校や地域、関係する皆さんがお互いにメリットのある「win、winの関係」をつくることができると思います。



ありがとうございました。サタデースクールを含む地域学校協働活動では、地域と学校をつなぐことのできる、地域のキーマン「コーディネーター」の役割が必要不可欠です。

教育委員会では、コーディネーターの配置や、運営協議会新設の支援のため、学校へ訪問しヒアリング調査を実施しております。希望がございましたら、是非、御連絡をお願いします（連絡先はチラシの最後）。

次回予告：サタデースクールインタビュー第2回「地域編」

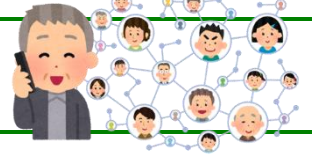




プログラムの企画条件



☺ 既にある取組でも、実施に向けた準備・連絡調整を運営協議会が担うことにより、サタデースクールのプログラムに位置付けることができます。



企画・調整	運営協議会 コーディネーター（地域人材）が中心となって、活動します。
内 容	下記4種の分野のいずれかに分類できるもの 複数の分野にまたがっても構いません。オンラインの活用も可能です。
学習支援	体験活動
地域人材を講師・指導者として行う、学校周辺の地域について知る学習、地域の魅力発信や課題解決を考える学習、放課後等の学習支援など	文化・芸術や自然体験、ボランティア活動、職業体験などの多様な活動
体力・健康づくり	地域交流
体力づくり、運動能力の向上、規則正しい生活習慣（食事・睡眠等）につながる学習や活動	幅広い年代との様々な交流、地域行事への参画等による地域貢献活動
参加対象	運営協議会を構成する学校の児童生徒 内容により、兄弟姉妹や保護者、地域住民の参加も可能です。
実施日	平日・休日・教育課程内外を問いません 教育課程内（授業時間等）での実施は、学校の監督のもとで実施する必要があります。
参加費	原則無料 ただし、参加者個人がその場で食べたり、作ったものを持ち帰ったりするプログラムでは、参加者から実費相当額を徴収して食材・材料の購入に充てます
講師等	できること・得意なことを教えることができる地域住民の方 内容に関する専門知識をお持ちの団体・企業の方 など 内容により、進行役のみでの実施も可能です。
スタッフ	運営協議会構成員のほか、地域住民・団体からボランティアを募集



サッポロサタデースクールのご相談・お問い合わせは
札幌市教育委員会生涯学習推進課 まで
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目STV北2条ビル4階
 電話 011-211-3872 F A X 011-211-3873

サタデースクール
HPはこちらから

